

明石クリーンセンター



明石市環境産業局
環境室資源循環課

〒674-0053 明石市大久保町松陰1131 TEL. 078-918-5794 FAX. 078-918-5793



AKASHI
CLEAN
CENTER

焼却施設

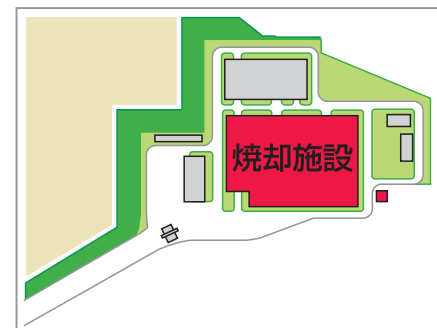
しょう きゃく し せつ

燃やせるごみを燃やして灰にします

燃やせるごみを燃やして灰にすることで衛生的に処理でき、埋立処分場に埋め立てる量をできるだけ少なくすることができます。



焼却炉の様子は中央制御室で監視しています。



焼却炉

焼却炉にはごみを完全に燃やす工夫がしてあります。ストーカという部品を水平に取り付けた床がまるで波のような動きをして、ごみをかき混ぜてまんべんなく燃やします。また、コンピュータでごみの焼却をコントロールして完全に燃やしています。

燃やせるごみの量	480トン／日 (160トン×3炉)
発電できる量	8,000キロワット
煙突の高さ	59メートル
運転を始めた時	1999年4月

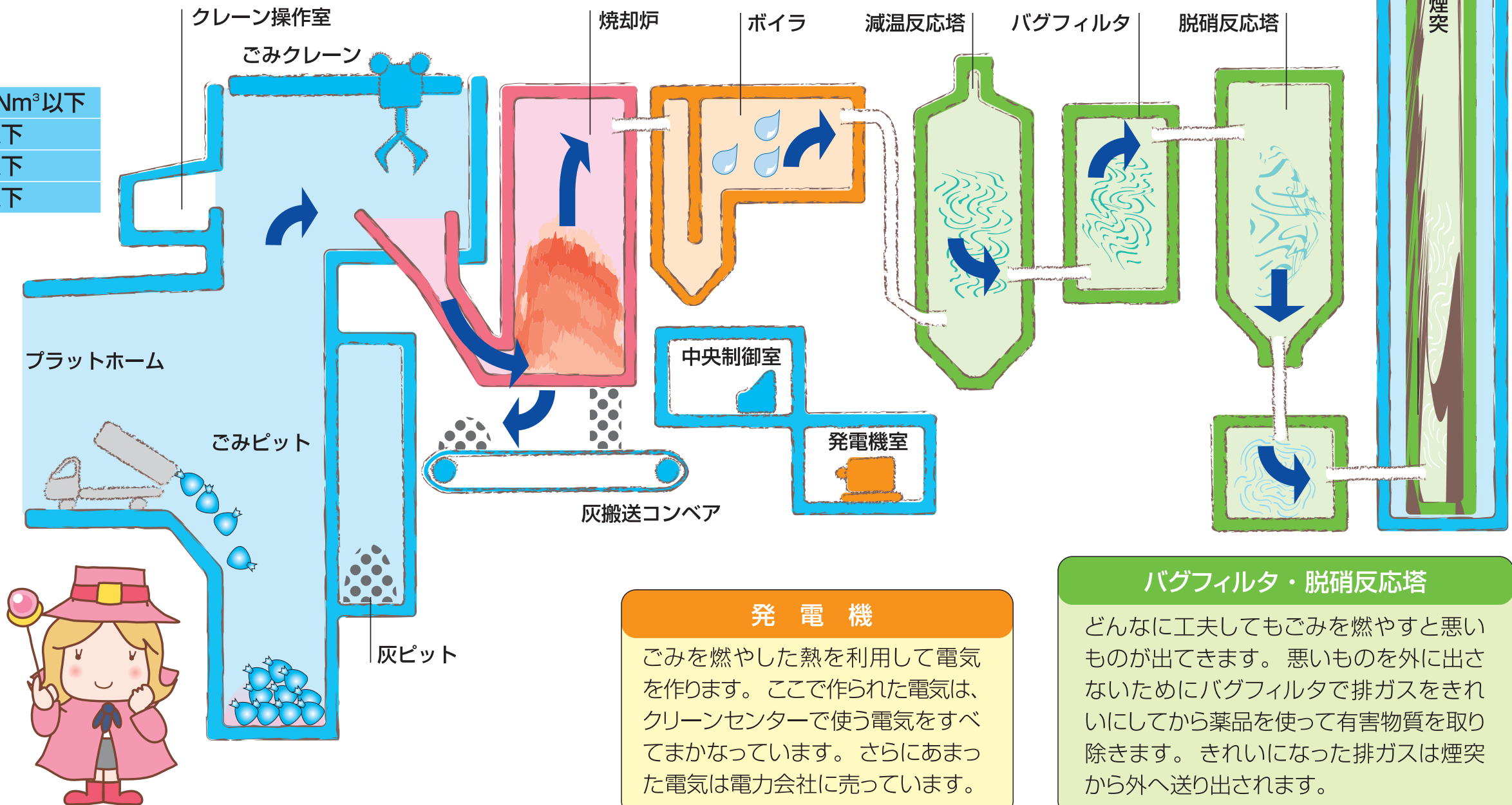
ばいじん	0.02 g / Nm ³ 以下
いおう酸化物	20 ppm以下
ちっ素酸化物	50 ppm以下
塩化水素	30 ppm以下

プラットフォーム

収集車で集められたごみは計量棟で重さを量ったあと、焼却施設プラットフォームへ運ばれます。ここからごみをごみピットへ投入しています。

ごみピット・ごみクレーン

ごみピットに集められたごみは、そのままでは燃えやすいところと燃えにくいところがあるのでごみクレーンを使ってよくかき混ぜてから燃やします。



発電機

ごみを燃やした熱を利用して電気を作ります。ここで作られた電気は、クリーンセンターで使う電気をすべてまかっています。さらにあまった電気は電力会社に売っています。

バグフィルタ・脱硝反応塔

どんなに工夫してもごみを燃やすと悪いものが出てきます。悪いものを外に出さないためにバグフィルタで排ガスをきれいにしてから薬品を使って有害物質を取り除きます。きれいになった排ガスは煙突から外へ送り出されます。

破砕選別施設

は さい せん べつ し せつ

資源ごみを種類ごとに分けます。

資源ごみを、スチール缶、アルミ缶、ペットボトル、びん（無色・茶・その他）に分けて、リサイクルする業者に引き渡しています。

燃やせないごみ・粗大ごみを碎きます。

燃やせないごみ・粗大ごみを碎いてから、燃やせるものは焼却施設に送って燃やし、燃やせないものは埋め立てます。また、鉄を磁石で集めてリサイクルする業者に引き渡します。

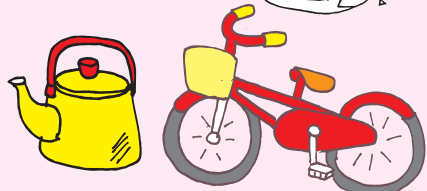
資源化系統

資源ごみ

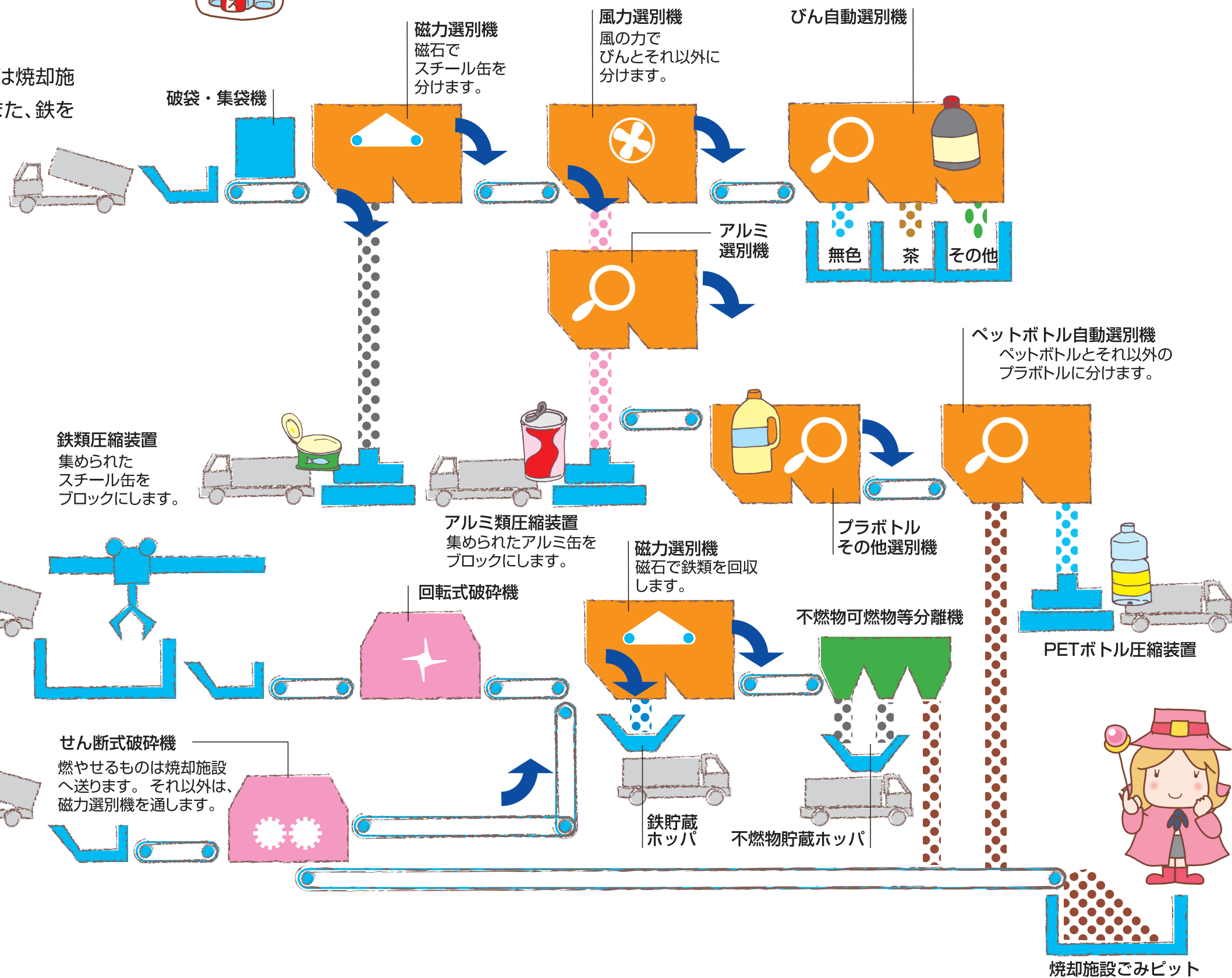
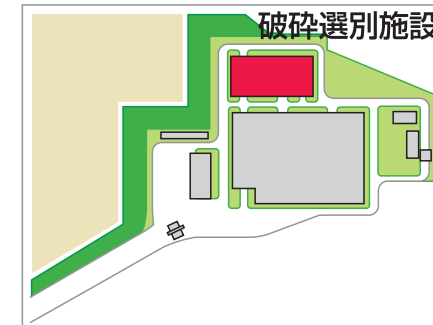
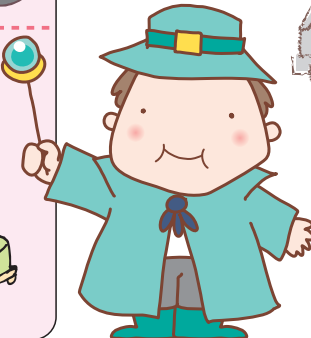
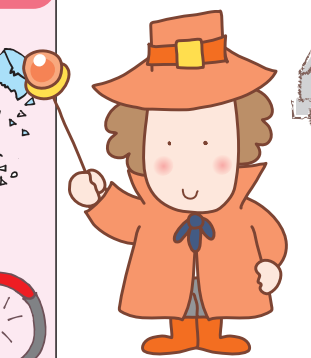
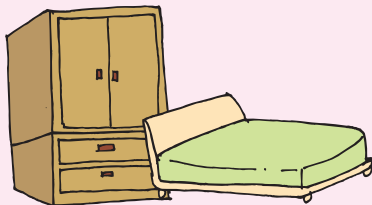


破砕系統

燃やせないごみ 燃やせない 粗大ごみ



燃やせる粗大ごみ



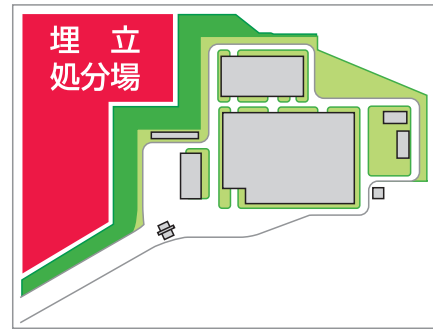
埋立処分場

うめ たて しょ ぶん じょう

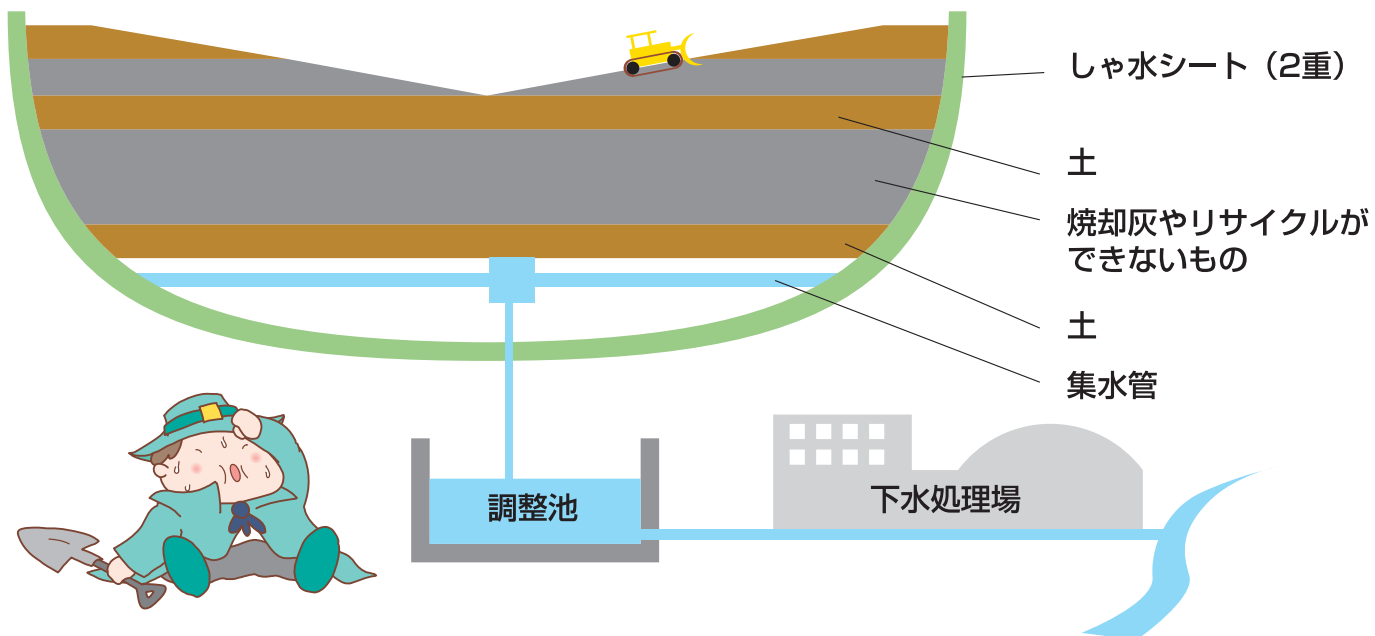
焼却灰やリサイクルが
できないものを埋めます。

燃やせるごみを燃やしたあとの灰は、それ以上小さく
できないので埋立処分場に埋めます。また、燃やせない
ごみや粗大ごみを砕いて出てくる陶器やガラスなど燃や
したりリサイクルできないものも埋立処分場に埋めます。

処分場の広さ	59,000m ²
埋立できる量	420,000m ³
埋立の方法	セル方式準好気性埋立
埋立期間	2007年～



埋立処分場は、しゃ水シート（水を通さないシート）をはって、埋
立地にたまる水が地下や周辺に影響がでないようにしています。この
水は集水管で調整池に集められポンプで下水処理場へ送り、きれいな
水に処理されています。



ごみをいくら燃やしても無くなってしまふことはなく灰がでできます。この灰やリサイクルできな
いものはどこかに埋めるしかありません。しかしごみを埋める処分場は、もうあまり残っていません。
このままの調子でごみを出し続けていくと埋立処分場はすぐに一杯になってしまいます。埋立処分
場が少しでも長持ちするためには、できるだけごみを減らさなければなりません。

ごみを減らすために、まずできることからやってみましょう。

明石のごみの現状

1年間に明石クリーンセンターに入ってきたごみの量 **87,925トン**（2023年度）

家庭から出たごみ **56,898トン**

燃やせるごみ
49,679トン



資源ごみ

2,699トン



燃やせないごみ
3,798トン



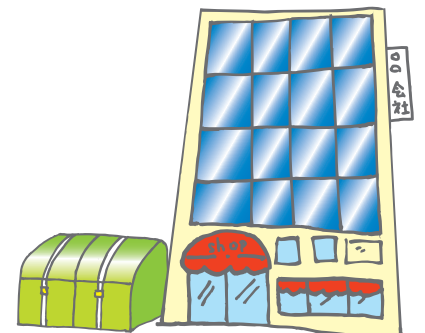
粗大ごみ

722トン



会社やお店から出たごみ

31,027トン



紙類・布類の回収量（2023年度）

1,758トン

月1回土曜日に紙の再資源化
業者が回収して、リサイクルし
ています。



集団回収で集まった資源の量（2023年度）

3,344トン

地域の子ども会や自治会
で資源物を自主的に集め
ています。

（対象品目）
新聞・雑誌・段ボール・紙
パック・布類・スチール缶・
アルミ缶・びん
など



ごみのために働く人や車（2023年度）

ごみを集める人の数

141人



明石クリーンセンターで
働く人の数 **103人**



ごみを集める車の数

59台

